

咲かせよう！ 太陽の花

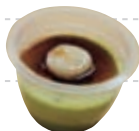


甚目寺中では、東日本大震災後、復興への支援活動として「東北応援プロジェクト」を立ち上げた。募金活動から始まり、被災地の中学校や愛知県内に避難されているかたがたとの交流を続けている。

今年度は、夏休みに「咲かせよう太陽の花」交流会を開催。宮城県亘理郡山元町立山下中学校・坂元中学校の代表生徒と先生計6名を招き、子どもたちと一緒に、二日間のおもてなしを手伝った。



小松菜を使ったのプリン作り。素材の風味を残してなめらかに仕上げた。



▲あま緑のプリン
◀水仙を図版にした七宝焼

遠路・宮城県からのお客様に、あま市の特産品をふるまう。初日の「代表者交流会」では、PTA役員と家庭科部の生徒が小松菜を使って作った「あま緑のプリン」を提供。真心いっぱいのお菓子は、大好評だったそうだ。

二日目には、全校生徒による「全体交流会」。全校合唱やあま市の紹介とともに、校長先生とPTA会長から七宝焼の記念品を贈った。

山下中・坂元中の生徒からは、被災体験を発表してもらった。実際の声聞くことで、生徒たちの意識も変わっていく。「家族で避難場所を確認しておかないと。」「いつでも避難できるように準備しておくことが大事なんだ。」

復興はまだ途中。今後も、太陽の花のような笑顔が増えるよう、PTA全体で活動を見守っていく。

校長先生、PTA会長から記念品の贈呈。



全体交流会の記念撮影。3校のきずなが深まった。

DATA 所在地 ●あま市甚目寺二伴田76 生徒数 ●690人 周辺環境 ●名鉄津島線の甚目寺駅から徒歩8分に位置する。近くには、萱津神社や尾張四観音の一つである甚目寺観音など、歴史的遺産が多い。「人権教育」に重点を置き、心身ともに健康で明るく、豊かな情操を培う伝統校でもある。

2015.11
探検